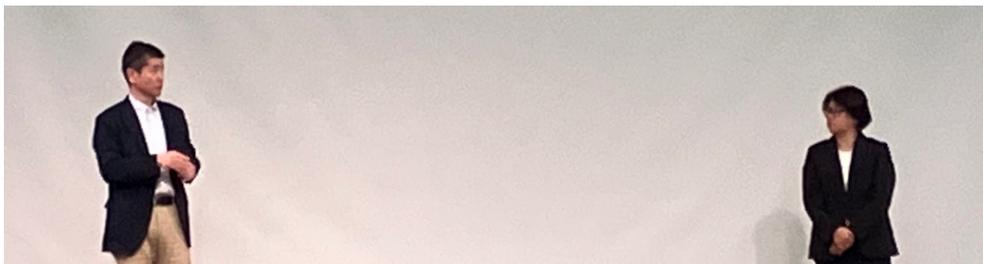


「手から手へ 70年の過去、現在、未来」

～ きんさいやあ 笑顔いっぱい平和のまち ひろしまへ～



宮窪町出身の矢野 羽衣子さんの講演と対談を行いました。  
新しい手話検定(全国大会限定) & 創作手話コンテストを行いました。

## 研究分科会

## 「手話言語」

手話言語について学ぶ  
～手話で話した町(宮窪手話)～

6月11日(土) 13時30分～16時30分

## 研究分科会後、参加者へインタビューしました！



大阪府 渡辺 徳仁さん

矢野さんの講演後に、大杉さんと矢野さんのディスカッションがありました。大杉さんからの質問に矢野さんが答えるという内容でした。南アメリカに「手話の島」というのがあって、それと似ていると思いました。その島では全く情報が入らない訳です。愛媛の宮窪手話は大変参考になりました。



宮崎県 溝ノ口 光輝さん

矢野さんの講演を聞いて昔の手話は大変素晴らしい。イメージをつかむことが大切だと勉強になりました。宮窪の手話(数の表し方)を地元を持ち帰って教えたい。ろうあ者大会に参加するのは久しぶりです。ろう者にまた会うことができるとても嬉しいです。

# 2

アステールプラザ 多目的スタジオ

## 研究分科会 「国際」

新しい時代のろうあ運動を目指して  
～SDGs（持続可能な開発目標）と障害のある人～

6月11日（土）13時30分～16時30分

基調講演とトークセッションが行われました。  
少し工夫することで様々な活動を  
SDGsに結び付けられることなどが実感できました。



### 研究分科会後、参加者へインタビューしました！



福岡県 土谷かずこさん

分科会の「国際」に参加を決めたのはSDGsについて  
まだまだ理解がたりないからです。  
講演やパネルディスカッションを見て沢山のことを  
知り学べました。特に私たちろう者は  
情報アクセシビリティの課題があるので、  
これを議論して、見てわかる情報を広められるよう  
ネットワークを作ることが大切と思いました。  
そして、それがSDGsにも繋がること分かりました。大  
変勉強になり、参加できて良かったです

# 3

アステールプラザ 中ホール

## 研究分科会

### 「災害」

多彩な災害の取り組み

～新型コロナウイルス感染症まん延の経験から～

6月11日（土）13時30分～16時30分



### 研究分科会后、参加者へインタビューしました！



佐賀県 中村 稔さん

九州の西部、佐賀県では、三年前、昨年と続けて大雨で大洪水となった。ろうあ者も浸水被害を受け、私たちは支援活動をした。今回の災害分科会の講師の話は、私の経験と重なり共感した。



愛知県 大塚 千恵美さん

私たちは聞こえないだけで、他のことでは支援する側に立てることを行政に話しています。他の地域ではどんなことをしているんだろうと情報を共有したくて来ました。私たちは、避難訓練では、ろう者グリーン、聴こえる人ピンクのビブスを着て参加してます。

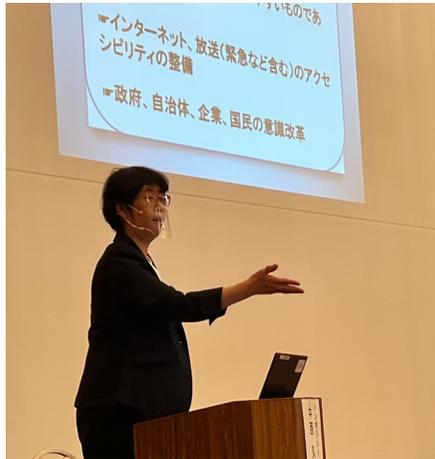
# 4

広島市文化交流会館 銀河

## 研究分科会 「情報アクセス」

デジタル社会に向けて  
～ITリテラシーを身につけ、情報格差をなくす～

6月11日（土）13時30分～16時30分



### 研究分科会後、参加者へインタビューしました！



三重県 羽田弥生さん

実際に遠隔手話通訳を利用したことはないですが、やはり遠隔手話通訳は必要だと思います。電波が悪いと手話が途中で途切れてしまうので、ネット環境を強化し、遠隔でもスムーズに手話が伝わるようにしてほしいと思います。私自身、今後のためにデジタルについて学んで頑張りたい。手話通訳も若い世代が少ないので、呼びかけていきたい。



兵庫県 足立達哉さん

遠隔手話通訳と遠隔手話サービスの違いを改めて確認できてよかった。例えば電車事故があった時、ろう者は車内放送が聞こえません。スマホのUDトークアプリで放送を文字化して知ります。確実にない場合、それを聞こえる人に見せて情報を確認してもらいます。やはり全国ろうあ者大会のように、一人一人顔を合わせ、目と目を見ながら手話で会話をするのが大切。



高知県 樋口徳明さん

以前手話リレーサービスを使った経験があるが、その時トラブルがありスムーズにできなかった。今日講演を聴いて全国でいろいろな課題がある事がわかった。問題や課題を、協会や連盟へ提言して、みんなで解決できればいいと思う。一緒に頑張りましょう。